

長期入院をなくす！ 精神科病院と地域をつなぐ アバターロボットの活用

アイデアテーマ：**3:地域課題解決（高齢者支援、遠隔問診など）**

特定非営利活動法人 東京ソテリア

www.soteria.jp

info@soteria.jp

東京ソテリアとは・・・障害福祉サービス事業者 です

- 障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業
 - 地域活動支援センター I 型事業
 - 就労継続支援A型事業
 - 特定相談支援事業、障害児相談支援事業
 - 地域移行支援、地域定着支援

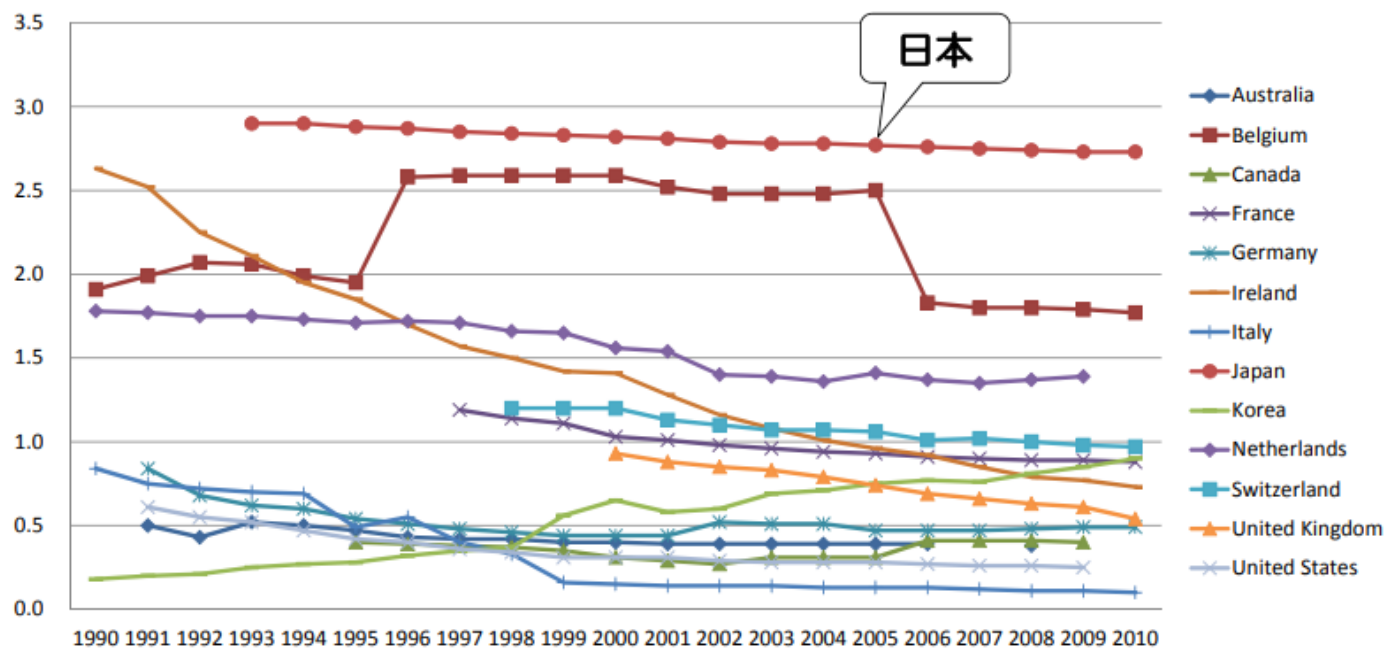
(江戸川区委託)

- 精神障害者自立生活体験事業
- 高次脳機能障害者支援事業
- 居宅生活安定化自立支援業務
- 精神障害者退院促進支援事業 (h22-24)
- 精神障害者居住支援事業 (h22-23)

日本は世界で一番、人口当たりの精神科ベッドが多い国です

精神病床数※(諸外国との比較)

単位: 床/千人

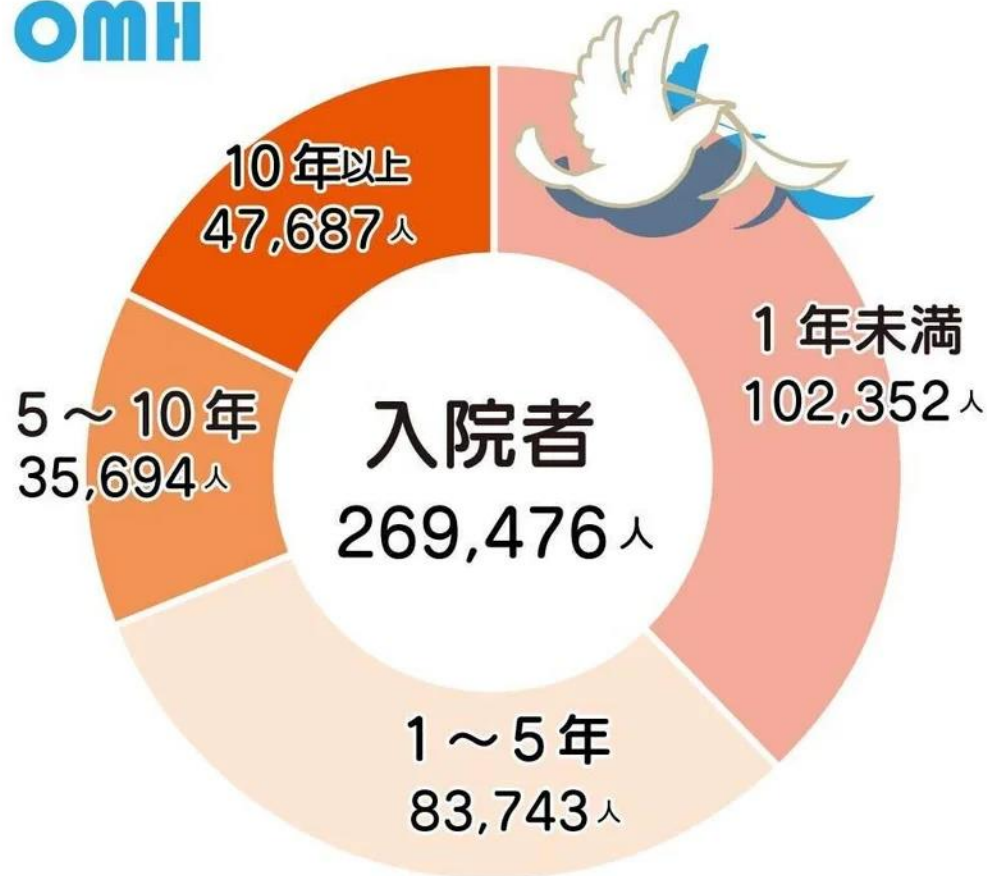


※各国により定義が異なる

資料: OECD Health Data 2012

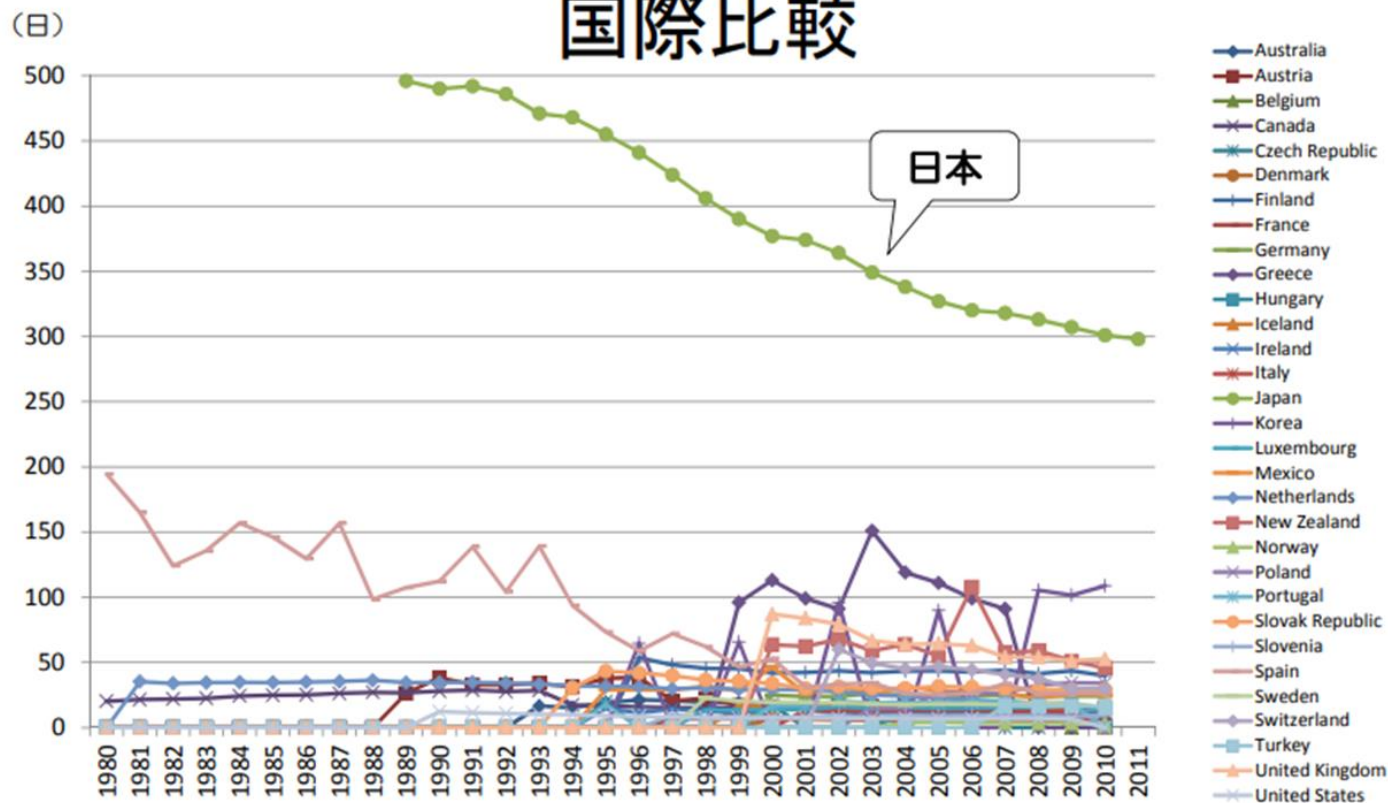
日本の精神科病院は数が多いだけでなく 入院期間が長期にわたる現状があります

OMH



日本は世界の中でも精神科の入院日数が長い国です

精神病床の平均在院日数推移の国際比較



※各国により定義が異なる

資料：OECD Health Data 2012

注) 日本のデータは病院報告より

山梨県の精神科病院に入院する 東京都民の数

精神科病院は街中には数が少なく、
隔離された場所につくられてきた歴史があります。

そんな影響から、東京都民が東京都の精神科病院だけでなく山梨県の精神科病院にも入院している現状があります。

山梨県に入院している東京都民の数

20名 ※2019年6月30日時点

(2019年度630調査 (精神保健福祉資料))

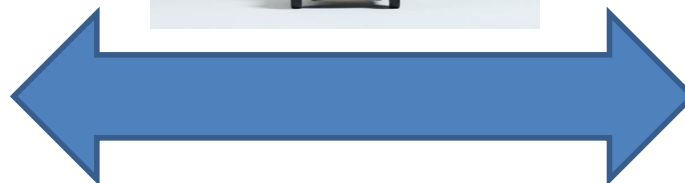
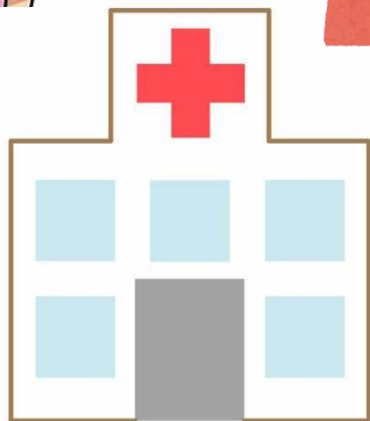
精神科病院に入院すると・・・

- 精神科に入院する269,476人のうち、在院期間が1年未満の方は102,352人であり、5年以上となる方は83,381人で、中には20年以上という方も。
- この長い月日を、閉鎖的な空間で自由を制限されて生活することになります。**日本の精神科病院の72%は一日中施錠されている病棟**です。持ち物や使える金銭なども制限され、一日のスケジュールも決められています。
- 通信や面会は制限できない基本的人権であるにもかかわらず、スマートフォンやインターネットを自由に使えないばかりか、テレホンカードを管理されるてしまうと電話をすることもできません。

アバターロボットを使ってできること

①東京での地域生活を体験！

②地域の支援者や家族も入院中の本人と繋がれる！



これによって達成できること

- ① **地域とのつながりを切らさずに入院生活を送ることで、地域生活のイメージの保持ができ、退院へのモチベーションにつながる**
- ② **遠方に入院している患者にとって、退院後の生活の場所となるグループホーム等の見学などがアバターロボットを通してできるようになり、手続きがスムーズになる**
- ③ **精神科病院が隔離された場所ではなく地域の中とつながりを持てる場所になることで、長期入院になる前に安心して治療につながる**
- ④ **精神科病院が地域からも見え、開かれた場所になることで、密室での管理的な体制から、より人権に配慮した場所へと生まれ変わる**

⇒長期入院の解消

さらにこんな効果も・・・

オンライン心理相談が可能になる

- ・場所や時間の制約を受けないことから、サービス・ギャップの解消に有効
- ・異なる媒体による心理相談の効果を比較検証する中で、話し手の表情や動きを反映しながら、素顔を隠すことができる「アバター」を用いた心理相談が、「非言語情報の豊富さ」および「匿名性の高さ」という2つの観点から、安心して利用できるオンライン心理相談サービスに有効であるという研究成果が出ている

【相談者のメリット】

- 自身の姿を見せず相談ができるため、心理的ハードルが軽減できる
- 環境を気にせず、どこからでも相談が可能になる
- 相手もアバターであることから、自己開示がしやすくなる

【心理職のメリット】

- 相談者から過度の感情移入をされる心配が軽減される
- 生活空間が映らないため、相談者と心理職の境界を保つことができる
- 勤務地を限定する必要がなく、テレワークでの心理相談が可能になる

下山 晴彦（東京大学大学院教育学研究科・総合教育科学専攻・臨床心理学コース 教授）掲載日：2020年6月15日

https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/press/z0110_00054.html